



進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第4号

令和6年 9月20日 発行

企業・施設見学会

8月21日(水)に小・中学部の教員を対象とした企業・施設見学会を行いました。今年度は、一般企業・就労継続支援 B 型事業所・生活介護事業所を3つのコースに分かれて見学しました。卒業までに身に付けるべき力や指導のあり方について情報交換をしたり、実際に働いている方々の様子などを見て各事業所の特徴や運営方針について理解を深めたりすることができ、大変充実した見学会となりました。

Aコース

- ・晴レル家(つばさ・B型)
- ・村田基準寝具(一般企業)

Bコース

- ・創造空間(B型、生活介護)
- ・いわき学園(B型、生活介護)
- ・ハニーズハートフル(一般企業)

Cコース

- ・さんしゃいんクレハ(一般企業)
- ・天真庵(B型)
- ・いわき希望の園(B型、生活介護)



晴レル家



創造空間



さんしゃいんクレハ



村田基準寝具



ハニーズハートフル



いわき希望の園

進路セミナー

7月24日(水)、全学部職員を対象とした「進路セミナー」が開かれました。午前中は、各学部の進路指導について情報交換するワークショップ、今年度から全学部で活用が始まった「キャリア・パスポート」の実践報告がありました。午後は、国立特別支援教育総合研究所の相田泰宏 主任研究員をお招きして、「キャリア・パスポート」の取組みと児童・生徒のキャリア形成」というテーマでご講演をいただきました。学校では、「様々な役割を果たせるような状況を意図的に設定していくこと」、「多様な体験機会を設定していくこと」、「果たした役割について、振り返りを通して、その子供の生活や人生への意味付けや価値付けを行うこと」で、児童生徒のキャリア発達を促していくという方向性を教えていただきました。

保護者の皆様には、引き続き本校の進路指導と「キャリア・パスポート」の取り組みに対するご理解とご協力をお願いいたします。



第12回特別支援学校作業技能大会報告

7月31日(水)に、郡山市のビッグパレットふくしまを会場に、「第12回特別支援学校作業技能大会～夢に向かって テクノチャレンジ2024～」が開催されました。

この大会は、高等部の生徒が日頃の学習の成果を発表し、外部専門家から客観的な評価を受けて、卒業後の進路実現や自立と社会参加に向けた技能や意欲を高めることをねらいに開催されています。

作業検定部門には、「ビルクリーニング部門」「喫茶接客サービス部門」「PC データ入力部門」「店舗販売(品出し)部門」があり、製品プレゼンテーションも含め本校からは18名の高等部生徒が参加しました。

【検定部門の結果】

ビルクリーニング部門 (6名参加)	【ダスタークロスの部】1級:4名 2級:2名 【モップの部】1級:5名 2級:1名 【テーブルクロスの部】1級:6名 審査員特別賞「ベストクリーン賞」(各部門の最優秀者受賞)
パソコンデータ入力部門 (2名参加)	1級:1名 4級:1名 審査員特別賞「モストコレクトタイピング賞」(各部門の最優秀者受賞)
喫茶接客サービス部門 (4名参加)	1級:3名 2級:1名
店舗販売(品出し)部門 (1名参加)	2級:1名



パソコンデータ入力部門の様子

【作業製品品評部門】

革工製品部門	スマホショルダー	金賞
布織物部門	ランチトートバッグ	銅賞



スマホショルダー



ランチトートバッグ



製品プレゼンテーションの様子

第23回福島県障がい者技能競技大会ーふくしまアビリンピック 2024ー

7月6日に福島市のポリテクセンター福島で開催された「第23回福島県障がい者技能大会」へ7名出場し、喫茶サービス競技で高等部3年生の今井星伶愛さんが銀賞を、同じく3年生の吉田奈菜さんが銅賞を受賞することができました。

「アビリンピックに出場して」 吉田 奈菜

私はアビリンピックで喫茶接客サービスに出場しました。午前の規定競技と午後の自由競技に出場しました。少し緊張しましたが無事に終わることができました。競技で心がけたところは声の大きさと笑顔です。声はお客様に聞こえる大きさでできました。笑顔はあまりできなかったです。アビリンピックは終わりましたが、作業の授業の時は笑顔を意識して取り組みたいです。声の大きさは実習の目標なのでがんばりたいと思います。賞は銅メダルを取る事ができました。アビリンピックは大人でも出場できるので、機会があれば、また出場たいです。

